

ヤフー株式会社

**2007年度 第3四半期
決算説明会**

2008年1月30日

YAHOO!
JAPAN



本説明会および参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

会社の業績に影響を与え得る事項の詳細な記載は「平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況」の「事業等のリスク」にありますので、ご参照ください。但し、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。



2007年度第3四半期 ハイライト

- 当四半期の売上高は700億円(前年同四半期比28.5%増、前四半期比14.8%増)、営業利益は312億円(前年同四半期比13.0%増、前四半期比4.0%増)、経常利益は308億円(前年同四半期比15.8%増、前四半期比5.2%増)、四半期純利益は171億円(前年同四半期比13.2%増、前四半期比31.5%増)となった。
- 広告事業においては、行動ターゲティングの販売が好調であることや、10月から主力商品として販売を開始した「プライムディスプレイ」が売上を伸ばしたことなどにより、ディスプレイ広告の売上は前年同四半期と比べて順調に推移した。検索連動広告の売上は、検索連動広告市場の更なる拡大および検索サービスの利用の増加が見られたことや、前四半期より開始した品質インデックスと入札単価を考慮した広告掲載が引き続き好調だったことに加えて、9月より連結子会社化したオーバーチュア(株)の業績が四半期を通して連結されたことにより、前年同四半期と比べて大きく増加した。当四半期の広告事業の売上高は367億円(前年同四半期比69.0%増、前四半期比24.4%増)となった。
- ビジネスサービス事業では、「Yahoo!不動産」が掲載件数の拡大により大きく売上を伸ばしたほか、「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!オークション」のテナント料および手数料収入も好調に推移した。「Yahoo!ショッピング」では、パソコン版、モバイル版共に全面リニューアルを実施、デザインや操作性を一新し、ストア向けの機能も向上させた。リニューアルの結果、特にモバイル版「Yahoo!ショッピング」の利用が拡大した。平成19年12月末の「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!オークション」のストア数は合計で30,223店舗と前年同四半期末と比べて5,162店舗(20.6%増)増加、リサーチ関連の売上も前年同四半期に比べて大きく増加した。当四半期のビジネスサービス事業の売上高は147億円(前年同四半期比14.5%増、前四半期比4.5%増)となった。



2007年度第3四半期 ハイライト

- パーソナルサービス事業では、「Yahoo!オークション」のシステム利用料収入が、年末商戦に合わせた様々な販促企画を行った結果、前四半期に比べて順調に推移したが、ビジネスサービス事業の売上に計上されるB to Cオークションの割合が高まったことに加えて、特定のカテゴリの取扱高において不振が見られたことや詐欺対策を一層強化したことなどにより前年同四半期比では伸び悩んだ。「Yahoo!プレミアム」においては、平成19年6月より開始した「年内無料キャンペーン」の無料期間終了に伴う解約の影響があったものの、平成19年12月末のYahoo!プレミアム会員ID数が674万IDとなり、前年同四半期末と比べて43万ID(6.9%増)増加した。「Yahoo! BB」のISP料金収入は、ソフトバンクBB(株)との業務提携契約の見直しによる影響で前年同四半期と比べて大きく減少した。当四半期のパーソナルサービス事業の売上高は186億円(前年同四半期比6.7%減、前四半期比6.8%増)となった。
- 米国最大のインターネットオークション会社であるeBay Inc.と、新たなインターネットオークション市場の創出・拡大を目指して、相互の市場進出支援および誘導の強化などの業務提携に向けた検討を開始した。
- 1月1日にYahoo! JAPANトップページの全面的なリニューアルを実施した。新トップページへのスムーズな移行が成功し、ページビュー数が順調に増加しているほか、新トップページの広告商品に対して、広告主、広告会社からも高い評価を得ている。

2007年度第3四半期決算 (連結ベース)

当四半期末の主な連結子会社

(株)アルプス社

オーバーチュア(株)

(株)ニュースウォッチ

ファーストサーバ(株)

ヤフーバリューインサイト(株)

ワイズ・エージェンシー (株)

(株)インディバル

トライクル(株)

(株)ネットラスト

(株)ブレイナー

ワイズ・インシュアランス(株)

ワイズ・スポーツ(株)

当四半期末の主な持分法適用会社

(株)インテージ・インタラクティブ

オリコンDD(株)

JWord(株)

(株)たびゲーター

TVバンク(株)

(株)ファッションウォーカー

(株)ベストリザーブ **NEW!**

(株)オールアバウト

(株)クレオ

セブンアンドワイ(株)

(株)テレウェイヴ

バリューコマース(株)

フォートラベル(株)

夢の街創造委員会(株)



2007年度第3四半期損益計算書

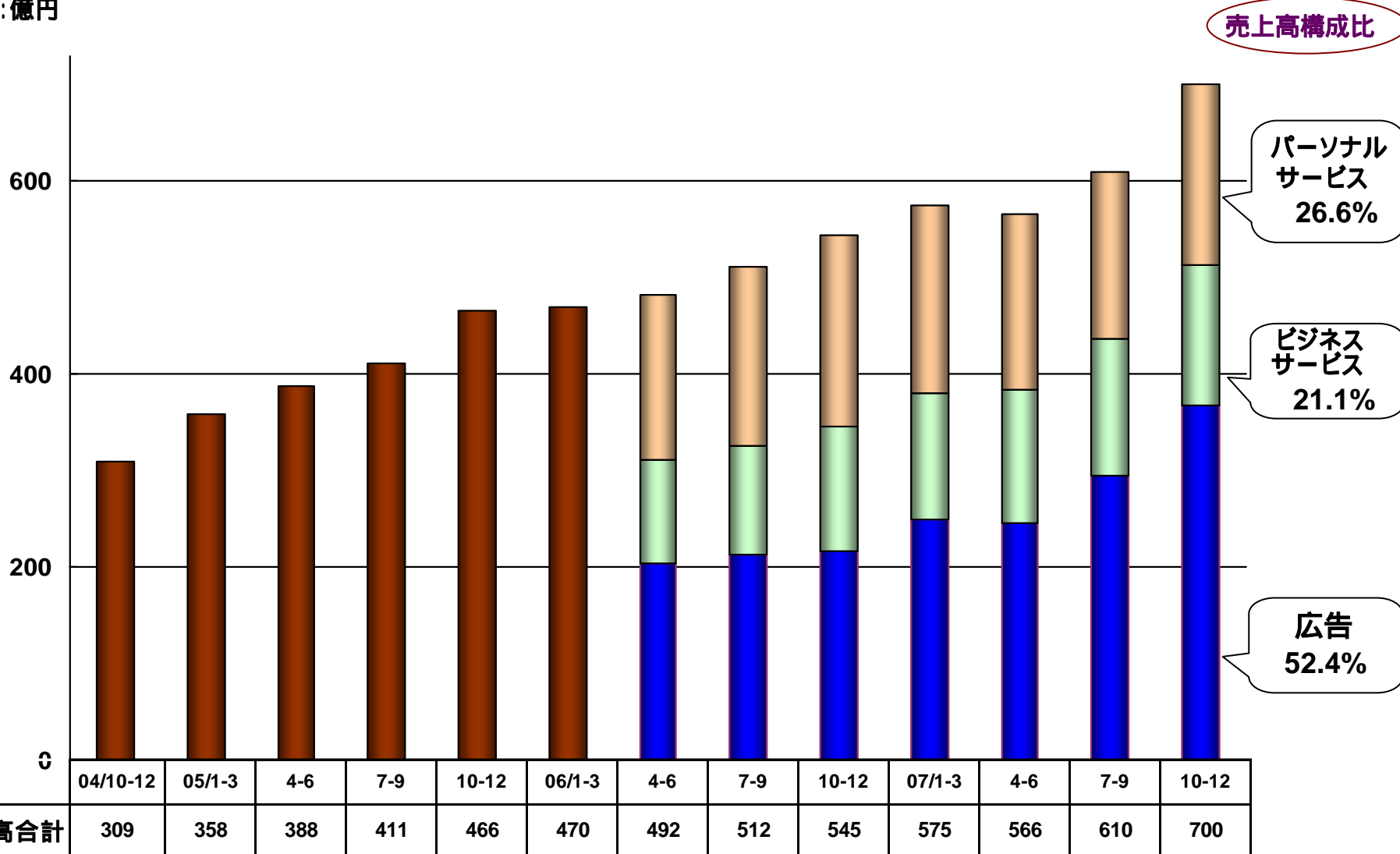
	2007年10-12月	2006年10-12月	増減率
売上高 (億円)	700	545	29 %
売上原価 (億円)	99	20	375 %
売上総利益 (億円)	600	524	15 %
営業利益 (億円)	312	276	13 %
経常利益 (億円)	308	266	16 %
四半期純利益 (億円)	171	151	13 %
EPS (円)	283	250	13 %
発行済株式数 (期中平均) (万株)	6,048	6,046	0 %
完全希薄化後 EPS (円)	283	250	13 %
完全希薄化後株式数 (万株)	6,058	6,056	0 %

*発行済株式数、完全希薄化後株式数は自己株式を除いています



四半期売上高推移

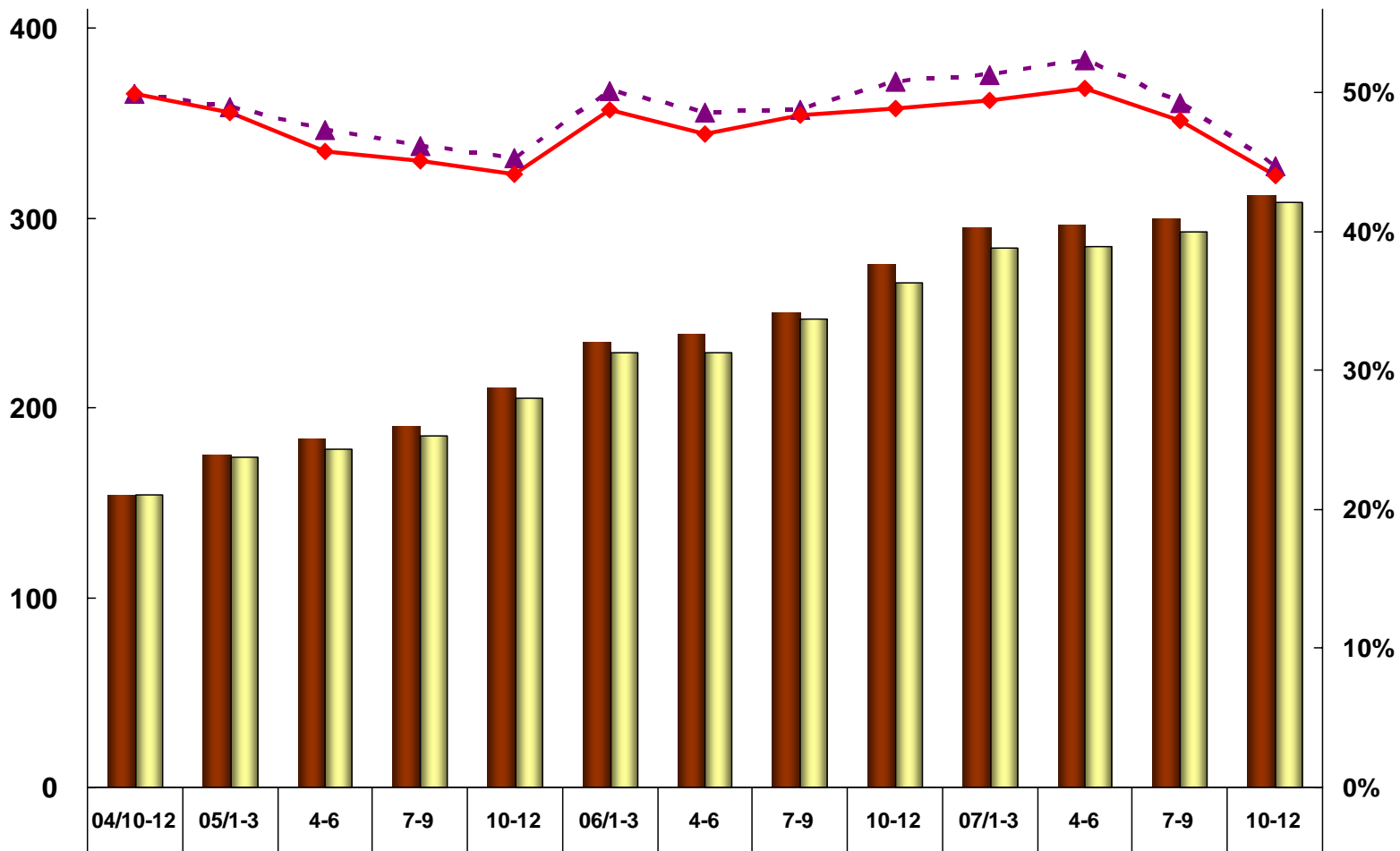
単位: 億円





四半期利益の推移

単位: 億円 400



07/7-9以降の利益率は、オーバークチュア(株)連結子会社化の影響により低下しています





2007年度第3四半期収益内訳

単位: 億円

	売上高	主な内訳(事業部別)		売上総利益	販管費	営業利益	営業利益率
広告事業	367	検索事業部 及びオーバーチュア(株) メディア事業部 サービス統括部 ソーシャルネット事業部 ライフスタイル事業部	62% 12% 9% 4% 3%	287	127	160	43.7%
ビジネスサービス 事業	147	地域サービス事業部 事業推進本部 オークション事業部 ショッピング事業部 会員サービス事業部	32% 25% 17% 13% 9%	129	68	60	41.1%
パーソナルサービス 事業	186	オークション事業部 会員サービス事業部 事業推進本部	46% 40% 9%	184	60	123	66.6%



費用構成の推移

単位: 億円

主な前年同期比増減要因

	07/3Q	構成比	07/2Q	前四半期比 増減率	06/3Q	前年同期比 増減率
人件費	60	21.1%	52	15.3%	48	24.7%
業務委託費	40	14.1%	40	0.1%	34	18.8%
販売手数料	28	9.9%	28	1.9%	24	14.8%
減価償却費	24	8.6%	22	10.3%	20	19.7%
通信費	21	7.3%	20	4.4%	20	4.0%
賃借料・水道光熱費	19	6.9%	16	19.4%	11	67.8%
ロイヤルティ	19	6.9%	17	13.4%	15	27.2%
支払手数料	14	5.0%	11	28.9%	10	43.7%
情報提供料	13	4.8%	12	7.3%	11	19.9%
販売促進費	11	4.0%	10	11.7%	19	-41.8%
維持管理費	4	1.7%	4	4.3%	4	3.0%
のれん(連結調整勘定) 償却額	4	1.6%	4	18.0%	3	39.1%
貸倒引当金繰入額	4	1.5%	4	-12.5%	6	-30.5%
その他	18	6.5%	15	20.9%	15	22.6%
合計	288	100.0%	261	10.1%	247	16.5%

人員の増加 (2007年12月末の役職員数は3,717人。前年同期末比で756人増加)

派遣・常駐社員費用、カード事業運営委託費用、オーバーチュア(株)の連結子会社化

ソフトウェアの取得

オフィスの一部移転・増床、オーバーチュア(株)の連結子会社化

「Yahoo!かんたん決済」取扱高増加、オーバーチュア(株)の連結子会社化

Yahoo! BB事業の業務提携契約見直しによる、会員獲得費用の消滅

個人向け債権の回収率改善



2007年度第3四半期貸借対照表

主な科目	2007年12月末	2006年12月末	増減	主な増減要因	単位: 億円
< 資産の部 >					
流動資産	1,299	880	419		
現金及び預金	819	514	304	営業活動による収益の増加	
受取手形・売掛金	345	278	66		
固定資産	2,070	1,995	74	オーバーチュア(株)の連結子会社化	
有形固定資産	162	145	17		
無形固定資産	161	135	26		
投資有価証券	1,638	1,653	-14	パリュウコマース(株)株式の評価損、 (株)インターネット総合研究所の上場廃止	
資産の部合計	3,370	2,875	494		
< 負債の部 >					
流動負債	732	599	133	オーバーチュア(株)の連結子会社化、 「Yahoo!かんたん決済」の預り金の増加	
短期借入金	201	201			
未払金	128	116	12		
未払法人税等	140	148	-8		
固定負債	300	500	-199	長期借入金の返済	
負債の部合計	1,033	1,100	-66		
< 純資産の部 >					
株主資本	2,302	1,732	569		
資本金	73	71	1		
資本剰余金	23	22	1	利益の増加	
利益剰余金	2,205	1,639	566		
評価・換算差額等	11	27	-15		
少数株主持分	22	15	7	(株)インターネット総合研究所の上場廃止	
純資産の部合計	2,337	1,775	561		
負債・純資産合計	3,370	2,875	494		



2007年度第3四半期キャッシュ・フロー

主な項目	2007年10-12月	主な増減要因	単位:億円
営業活動によるキャッシュ・フロー	95		
税金等調整前四半期純利益	300	税引前四半期純利益の増加	
減価償却費	26		
売上債権・仕入債務の増加	-9		
その他営業債権・債務	-26		
未払消費税の増加	26		
法人税等の支払	-231	法人税の支払い	
投資活動によるキャッシュ・フロー	155		
定期預金の減少による収入	200	定期預金の満期による収入	
有形固定資産の購入	-15		
無形固定資産の購入・売却	-9		
投資有価証券の取得	-20		
財務活動によるキャッシュ・フロー	-101		
長期借入金の返済	-100	長期借入金の返済	
キャッシュ・フロー増加額	150		



役職員数の推移

単位:人

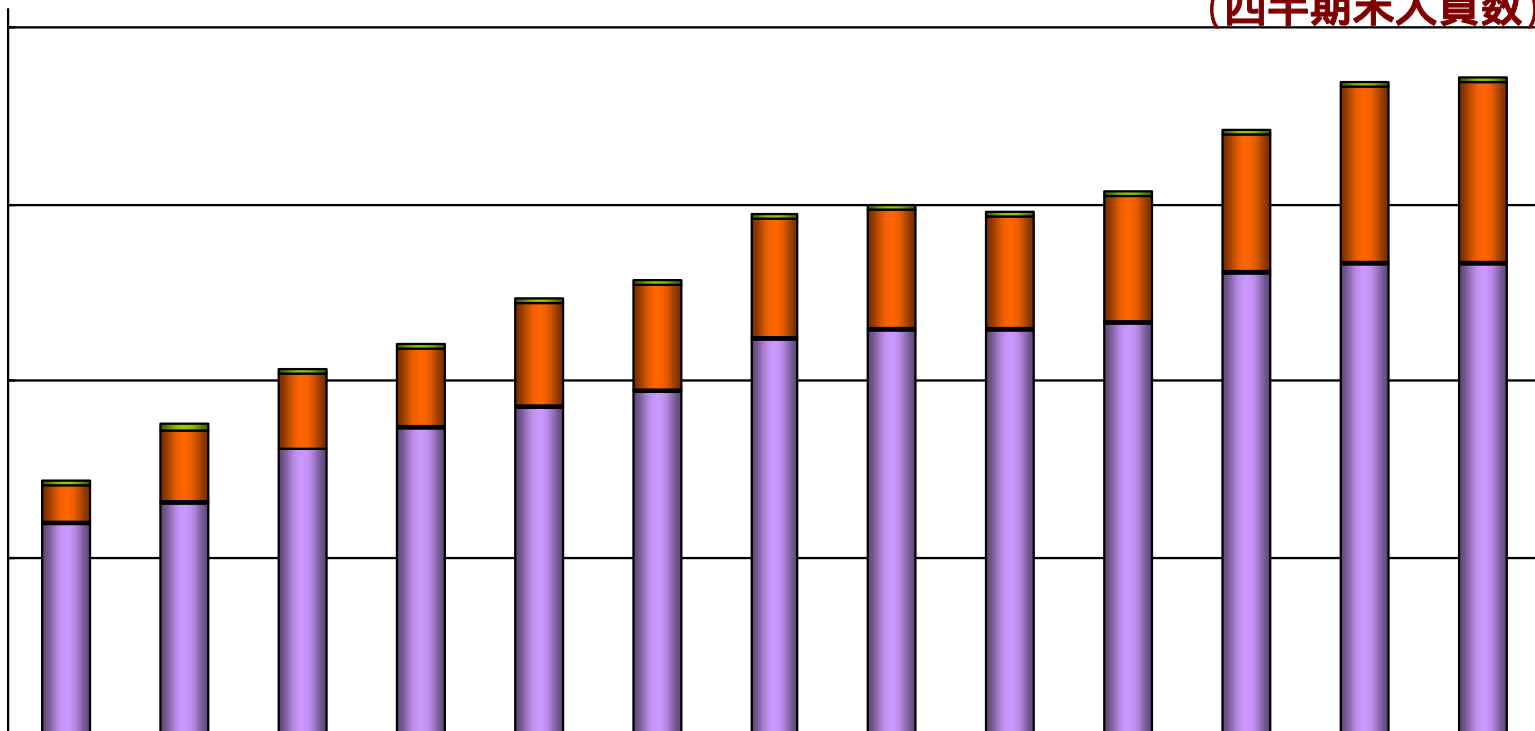
4,000

(四半期末人員数)

3,000

2,000

1,000



	04/12	05/3	6	9	12	06/3	6	9	12	07/3	6	9	12
子会社役員	26	34	27	27	33	33	31	31	25	27	27	33	31
子会社従業員	209	397	417	438	583	594	669	670	634	711	773	990	1,015
Yahoo! JAPAN 役員	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
Yahoo! JAPAN 従業員	1,196	1,316	1,616	1,740	1,849	1,940	2,239	2,289	2,293	2,331	2,610	2,658	2,662
合計	1,440	1,755	2,069	2,214	2,474	2,576	2,948	2,999	2,961	3,078	3,419	3,690	3,717

上記の子会社役員・従業員数はYahoo! JAPANとの兼任および出向者を含んでいません





2007年度第3四半期のレビュー

オーバーチュア(株)の損益を3ヶ月フルに連結。これによる売上高への影響は約90億円。営業利益・経常利益への影響は少額

検索連動広告が見通しを大きく上回り好調だったが、情報掲載売上やオークション関連売上が期待ほどには伸びなかった

業務委託費・減価償却費・販売促進費を中心に販管費を抑制

以上により、売上高は見通しの上限に近い結果となり、営業利益・経常利益は見通しの範囲を上回った

単位:億円

(連結ベース)	実績	見通し (2007年10月24日時点)
売上高	700	684~708
営業利益	312	297~311
経常利益	308	293.5~308
四半期純利益	171	166~175



2007年度第4四半期及び通期見通し

(連結ベース)

2007年度第4四半期の原価・販管費は、主に検索連動広告売上の拡大による原価の増加、販売手数料等の広告関連費用及び減価償却費の増加により、第3四半期と比較して約27億円増加の見込み

単位:億円

2008年1月30日現在 (連結ベース)	2006年度第4四半期 (実績)	2007年度第4四半期 (見通し)	2007年度 第1～3四半期累計 (実績)	2007年度通期 (見通し)
売上高	575	728~766	1,878	2,606.02~2,644.02
営業利益	295	317.5~345.5	910	1,227.95~1,255.95
経常利益	284	316~344	886	1,202.60~1,230.60
四半期(当期)純利益	159	184~200.5	464	648.43~664.93

- 当グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する可能性があり、通期の業績見通しについて信頼性の高い数値を算出することは極めて困難であると考えています。従いまして、当グループは四半期ごとに業績発表を行い、併せて次四半期の業績見通しのみを公表することとしています。尚、上記の「2007年度通期見通し」は、2007年度第1～3四半期の実績累計値に第4四半期の見通しを加算したものとなっています



特記事項 1

eBay Inc. との業務提携検討の開始

Yahoo! JAPANとeBay Inc.は日米オークション市場への相互進出支援および誘導強化を行う予定

以下3つのフェーズを通じ、クロスボーダー取引の機会を拡大することにより、利用者にとってより魅力的なインターネットオークションサービスを提供

今後は、オークション以外のイーコマースサービスにおけるクロスボーダー取引、また米国以外とのクロスボーダー取引機会の提供も目指す

フェーズ1: (株)ネットプライスドットコムの子会社が提供する購買代行サイト「セカイモン」にて、eBayの商品の日本語訳表示、落札の仲介サービス等を開始

フェーズ2: 「Yahoo!オークション」上で上記購買代行サイトを展開。日本国内の商品と、米国eBayの商品が並列される

フェーズ3: 米国eBayのサイト上で「Yahoo!オークション」商品の購買代行サイトを展開。「Yahoo!オークション」の豊富な商品の英語訳表示、落札の仲介サービスを展開



特記事項 2

オークション詐欺に対する取り組み

「Yahoo!オークション」における詐欺を撲滅するために、従来から行っている取り組みを、更に強化

- 「受け取り後決済サービス」の提供(2007年7月)
- 一部カテゴリにおける商品到着後決済を義務化(2007年12月)
- 商品到着後決済のための新たな取引方法の導入(2008年春予定)
- Yahoo! JAPAN IDに紐付いた仮想口座サービスの提供(2008年夏予定)
- 不正ID売買に関する啓発活動の実施。警察庁及び都道府県警への捜査協力。詐欺実行犯・不正ID売買者への法的措置の実施

継続的な取り組みにより、当グループの詐欺被害者に対する補償金支払額は大幅に減少

- 2007年^(1-12月)の計上額は約1.3億円。2006年に比べて5億円(81%)減少



特記事項 3 オープン化戦略の進捗状況

< 広告配信による提携 >

- ◆ 2007年10月に設置した「パートナーソリューション本部」とオーバークチュア(株)を中心に、パートナーサイトに対するディスプレイ広告・検索連動広告配信の提案を強化
- ◆ ホームページやブログの運営者向けに「Yahoo!ウェブオーナーセンター」を開始。個人サイト運営者が、サイト作成等のサポートを受けると共に、ディスプレイ広告配信による収入を得ることが可能となった

< ツール・インフラ提供による提携 >

- ◆ パートナーサイトに対し、様々なツール・インフラを提供：
 - Yahoo! JAPAN IDによるログイン機能の提供(10サイト)
 - 「Yahoo!ウォレット」を利用した課金システムの提供(207サイト)
 - API等、様々なサービスを提供(多数)



特記事項 4

トップページ リニューアル

2008年1月1日にトップページをリニューアル。切り替えはスムーズに完了し、ページビューが順調に増加。サイズを拡大したブランドパネルは、新規導入したトリプルサイズを含め、広告主に好評

検索窓

検索関連スペースの拡大

パーソナライズ機能

表示項目のカスタマイズが可能に

ソーシャルメディア化

CGM系の情報を配信

オープン化

パートナーサイトにトラフィックを誘導

広告配信枠

ブランディング効果を高めるため、広告枠のサイズを拡大

パーソナルボックス

個人向けツールおよびカスタマイズ可能な情報を掲載

Yahoo! Everywhere

モバイル用の機能および情報を配信

地域情報

生活圏の情報を配信



事業別報告



Yahoo! JAPAN 事業概要

広告事業

インターネット広告

- バナー広告等のディスプレイ広告
- 2007年9月から連結子会社となったオーバーチュア(株)が提供する検索連動広告 他

ビジネスサービス事業

広告以外の法人向けビジネス

- 「Yahoo!リクナビ」「Yahoo!不動産」「Yahoo!自動車」等の情報掲載料
- 「Yahoo!オークション」「Yahoo!ショッピング」テナント料・手数料
- 「Yahoo! BB」新規獲得インセンティブ・継続インセンティブ
- ヤフーバリューインサイト(株)、ファーストサーバ(株) 他

パーソナルサービス事業

個人向けビジネス

- 「Yahoo!オークション」システム利用料
- 「Yahoo!プレミアム」会員費
- 「Yahoo! BB」ISP料金
- (株)ネットラスト
- 有料コンテンツ課金 他

ディスプレイ広告(バナー広告等)

- 企業の広告宣伝費の抑制による全般的な停滞感は続くものの、ブランディング効果の高い商品やターゲティング広告等、広告主のニーズにあった提案を行った結果、ディスプレイ広告売上は前年同期比で順調に推移
- 10月に販売を開始した「プライムディスプレイ」の視認性や広告表現力の高さが認められ、ブランディング効果を求めるナショナルクライアントを中心に売上が伸びた。行動ターゲティングにおいては、地域情報を掛け合わせた商品の浸透により広告主数・売上高ともに増加

検索連動広告(検索事業部・オーバーチュア(株)等)

- クエリ数の増加や、前四半期に開始した品質インデックスと入札単価を考慮した広告掲載が奏功したことに加え、オーバーチュア(株)の損益が四半期を通じて連結されたことにより、検索連動広告売上は前年同期比で大幅に増加。また携帯端末における検索連動広告売上も堅調に推移

販管費

- 主な項目は販売手数料、人件費、情報提供料等

Y!ディスプレイ広告売上高の業界別シェア

広告売上高の増加額(前年同期比)が大きかった業界(*) 広告売上高の増加率(前年同期比)が大きかった業界(*)

移動体通信サービス
自動車・関連品(輸送用機器)
情報処理サービス・ソフト会社

情報処理サービス・ソフト会社
移動体通信サービス
自動車・関連品(輸送用機器)

	06/3Q	4Q	07/1Q	2Q	3Q
金融・保険・証券	17.3%	18.5%	17.8%	17.8%	15.8%
自動車・関連品(輸送用機器)	8.9%	10.7%	10.2%	12.0%	10.8%
不動産・建設	8.7%	11.0%	9.8%	10.0%	9.2%
移動体通信サービス	5.2%	3.2%	6.1%	4.7%	8.5%
化粧品・トイレタリー	7.5%	6.0%	7.7%	8.5%	7.7%
交通・レジャー	6.6%	6.5%	6.2%	6.4%	7.3%
各種人材サービス	6.2%	7.4%	5.1%	4.0%	4.0%
コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器	4.5%	6.5%	4.2%	3.2%	3.8%
エンターテインメント系ソフト	3.7%	2.7%	2.6%	2.3%	3.5%
ファッション・アクセサリ	3.4%	2.5%	3.1%	2.7%	3.2%
飲料・嗜好品	2.7%	3.1%	4.8%	5.0%	2.9%
情報処理サービス・ソフト会社	1.1%	1.8%	1.7%	1.2%	2.8%
食品	3.7%	3.2%	3.3%	3.4%	2.6%
その他	20.5%	16.9%	17.4%	18.8%	17.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 上記は検索連動広告を含んでいません

(*)「その他」に含まれる業界を除き、増加額・増加率の大きい順番で並べています



ビジネスサービス事業

eコマース関連収入 (オークション事業部、ショッピング事業部等)

- 「Yahoo!ショッピング」においては、PC版・モバイル版共に全面リニューアルを実施。その結果、特にモバイル版「Yahoo!ショッピング」の利用が拡大した。「Yahoo!オークション」においてはストア数の増加により取扱高におけるBtoCオークションの割合が高まった
- 「Yahoo!ショッピング」「Yahoo!オークション」の合計ストア数は2007年12月末で30,223店舗と前年同期比5,162店舗(21%)増加。これに伴いコマース関連収入も好調に推移

情報掲載料収入 (地域サービス事業部等)

- 前四半期に引き続き「Yahoo!不動産」が好調に推移。不動産関連売上が前年同期比60%以上増加

リサーチ関連売上 (事業推進本部)

- ヤフーバリューインサイト(株)との協力により積極的な販売活動・モニター数拡大策を展開した。リサーチ関連売上高は前年同期比30%以上の増加。また2007年12月末現在の登録モニター数は161万人となった

販管費

- 主な項目は人件費、業務委託費、販売促進費等

「Yahoo!オークション」システム利用料収入(オークション事業部)

- 特定カテゴリ(自動車車体・ゲーム等)の不振、詐欺対策及び違反商品削除の強化によるブランド品取扱高の減少等により、「Yahoo!オークション」の第3四半期の取扱高は約1,943億円と前年同期比約3%減少。またストア数の増加により、取扱高におけるBtoCオークションの割合が高まり、パーソナルサービスにおける「Yahoo!オークション」システム利用料収入は前年同期比で減少。なお、出品・入札・落札におけるアクティブユーザーID数は堅調に増加している

「Yahoo!プレミアム」会員費収入(会員サービス事業部)

- 2007年6月より開始した「プレミアム会員費年内無料キャンペーン」の無料期間終了に伴う解約の影響は限定的。新規のキャンペーン・会員限定サービス等により会員獲得に努めた結果、当四半期末のプレミアム会員ID数は過去最大の674万IDとなった

「Yahoo! BB」ISP料金収入(会員サービス事業部)

- 2007年4月におけるソフトバンクBBとの業務提携契約の見直しにより、ISP料金収入が前年同期比約10億円減少

コンテンツ課金収入

- 「Yahoo!パートナー」、「Yahoo!コミック」、「Yahoo!メール」セキュリティパック等の課金コンテンツ・サービスを中心に好調に推移

販管費

- 主な項目は業務委託費、支払手数料、減価償却費等

事業部別報告



各事業部の2007年度第3四半期における活動

検索事業部

検索キーワードと検索回数をもとに集計・編集したキーワード情報サイト「Yahoo!検索ランキング」の提供を開始

モバイル版「Yahoo!検索」:「Yahoo!ケータイ」において、地図や画像などの検索結果を直接画面上に表示するダイレクト・ディスプレイの機能を追加

ソニーPSP向け検索結果画面および任天堂Wii向けソフトウェアキーボードをリリース

「Yahoo!検索」:ダイレクト検索機能を拡充(ニュース記事、自殺防止メッセージ等)。また音楽検索機能を拡充

オークション事業部

米国最大のインターネットオークションサイトを運営するeBay Inc.と業務提携に向け検討を開始。日米オークション市場への相互進出支援及び誘導の強化を行う予定(P.16参照)

「Yahoo!オークション」における詐欺対策を強化(一部のカテゴリにおける商品到着後決済の義務化、ID売買防止に関する啓発活動の実施、「Yahoo!なんでも交換」の指名手配特集において警察庁および都道府県警への捜査協力等)(P.17参照)

自治体・行政機関による「インターネット公売」等を引き続き実施



各事業部の2007年度第3四半期における活動

会員サービス事業部

「Yahoo!プレミアム」「Yahoo! BB」: 会員獲得のための各種プロモーションの実施
(オークション入札経験者に対するプレミアム会員費年内無料キャンペーン・3ヶ月無料キャンペーン、
「Yahoo! BB」申し込み時のプレミアム会員登録によるプレミアム会員費3ヶ月無料キャンペーン等)

「Yahoo!プレミアム」会員価値向上のための施策を各事業部と連携して実施
(会員限定の特典付サービスの提供、有名アーティストライブ動画の会員限定配信等)

モバイル版「Yahoo!パートナー」の提供を開始

「Yahoo!保険」: 三井住友海上火災保険(株)との提携により、プレミアム会員専用
団体傷害保険「ちょこっと保険」の提供を開始

地域サービス事業部

「Yahoo!地域情報」(ベータ版): 地域により密着した情報を提供する場としてリニューアル。
人気スポットや話題のイベント情報のクチコミ投稿機能等を追加

「Yahoo!地図情報」: 「スクロール地図」「航空写真」が世界地図に対応

「Yahoo!リクナビ」: 短期・単発アルバイト専門の求人情報サービス「ショットワークス」の
サービス対応エリアが全国に拡大



各事業部の2007年度第3四半期における活動

メディア事業部

「Yahoo!ニュース」: 閲覧履歴に基づく記事配信等、パーソナライズ機能の強化

「Yahoo!みんなの政治」: 国会中継の動画配信を開始

「Yahoo!ファイナンス」: トップページをリニューアル

ショッピング事業部

「Yahoo!ショッピング」サイトを全面リニューアル。今後のサービス向上のためのプラットフォーム構築を行った

クリスマス、お歳暮等の季節販促特集に注力

三井物産(株)と共同で海外ブランド正規品のアウトレットショッピングサイトを公開

ソーシャルネット事業部

「Yahoo!メール」: 送信メールアドレスを偽って送られてくる「なりすましメール」の受信拒否機能を追加。また、迷惑メール対策用サブアドレス「セーフティーアドレス」を「Yahoo!メール」利用者全員に提供開始

「Yahoo!メール Academic Edition」: 全国の教育機関を対象に、学校が指定したドメインを利用した「Yahoo!メール」機能を在校生等の関係者に無償提供することを決定

動画投稿サービス「Yahoo!ビデオキャスト」のモバイル版の提供を開始

「Yahoo!ブログ」: トップページのレイアウトを変更するとともに様々な機能を追加



各事業部の2007年度第3四半期における活動

ライフスタイル事業部

ペット情報の交換や写真の投稿ができる「Yahoo!ペット」の提供を開始

「Yahoo! BEAUTY」:総合美容サイト「Yahoo!ビューティー」をリニューアル。
月間ウェブマガジン「LUAU(ルアウ)」の提供を開始

「Yahoo!映画」:オンラインシアターで視聴できる映画タイトルを拡充

モバイル事業部

「Yahoo!ケータイ」において、検索や天気などのウィジェットを携帯電話の画面上に置いて利用できる、モバイル版「Yahoo!デスクトップ」(ベータ版)の提供を開始

モバイル版「Yahoo!検索」:「Yahoo!ケータイ」において、地図や画像などの検索結果を直接画面上に表示するダイレクト・ディスプレイの機能を追加

モバイル版「Yahoo!メール」:デザインをリニューアルし、機能を追加。メールの表示方法や件数などのカスタマイズが可能に。迷惑メール対策も強化

モバイル版「Yahoo!きっず」の携帯電話全キャリアへの提供を開始



各事業部の2007年度第3四半期における活動

事業推進本部

決済事業: (株)ジャパンネット銀行と提携し、Yahoo!ポイント現金化サービスの提供を開始。また、「Yahoo!公金支払い」において地方公共団体への寄付金のクレジットカード収納を開始

旅行事業: 国内宿泊予約サービスを全面リニューアル。高級ホテル・旅館予約サイト「一休.com」提供のプランの掲載を開始。更にオンライン宿泊予約サイト「ベストリザーブ」を運営する(株)ベストリザーブと資本・業務提携

リサーチ事業: ヤフーバリューインサイト(株)との協力により積極的な販売活動、モニター数拡大策を展開。2007年12月末現在の登録モニター数は161万人(PCのみ)

デジタル・ホーム事業: シャープ(株)の液晶大型TV「AQUOS」における専用インターネットポータルページの共同開発を発表

サービス統括部

「Yahoo! JAPAN」: 2008年1月1日にトップページを全面リニューアル(P.19参照)

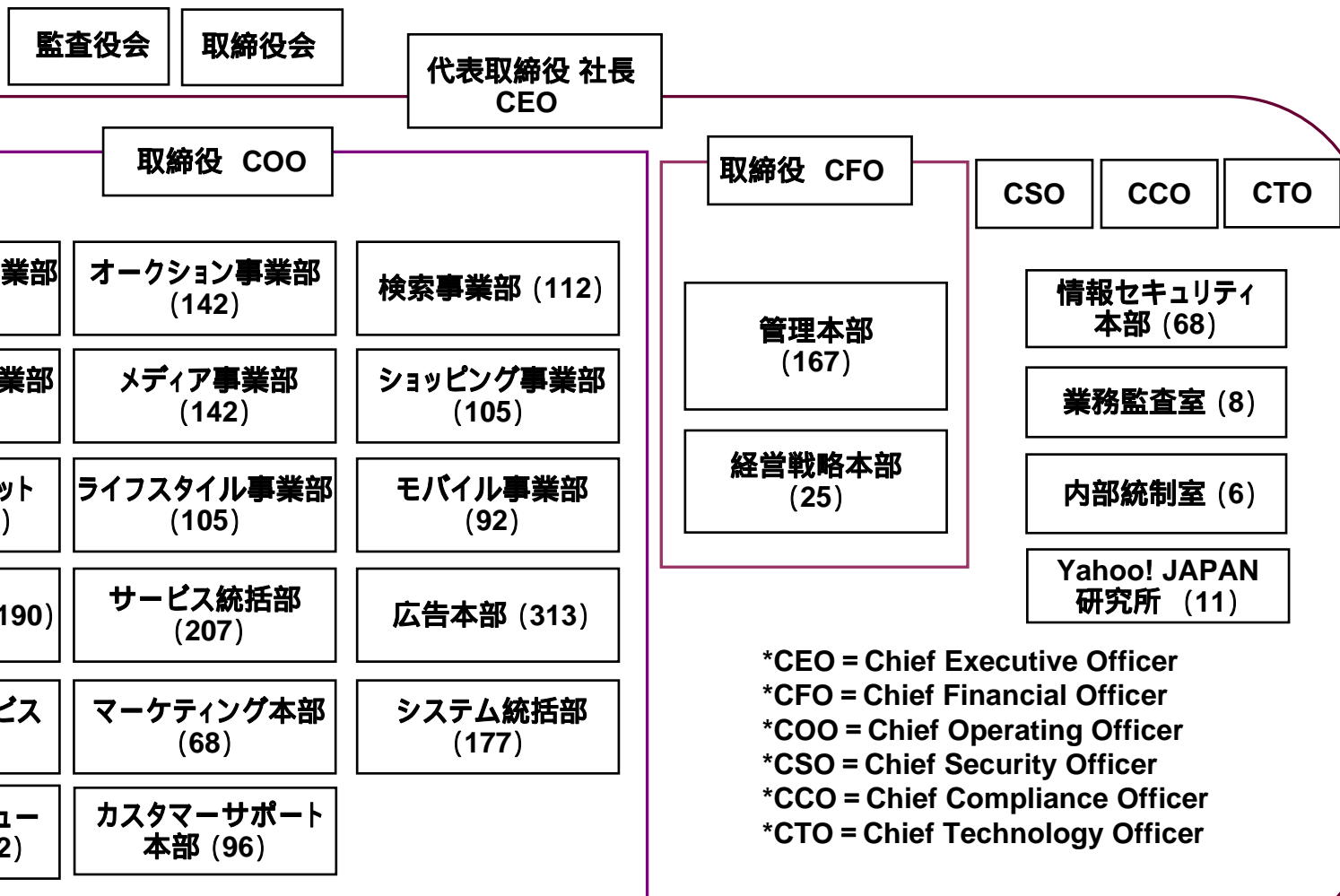
「2016東京招致オフィシャルパートナー」として、国際オリンピック招致特集ページ「あの感動を再び！ 2016年オリンピックを東京に呼ぼう！」を公開

モバイル版「Yahoo!きっず」の携帯電話全キャリアへの提供を開始

添付資料



組織図

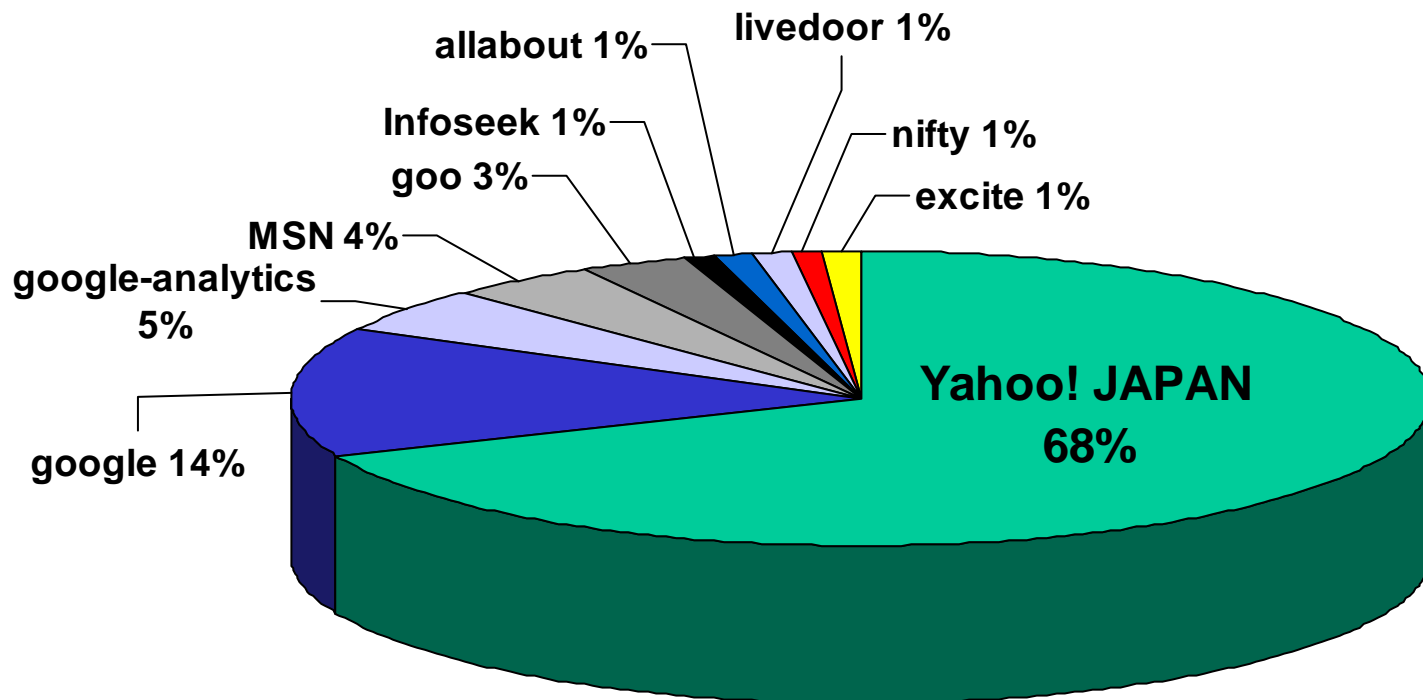


計2,687名 (2008年1月1日現在)



Y! オフィスからのアクセスでも圧倒的No.1!

- ハミングヘッズ(株)の調査によると、ビジネスシーンにおけるYahoo! JAPANサイトへの接続の割合は68%。
1利用者当たり1日平均12回接続している
(調査対象:約150社における利用者15万人 / 調査期間:1ヶ月間)





2007年度第3四半期 事業データ

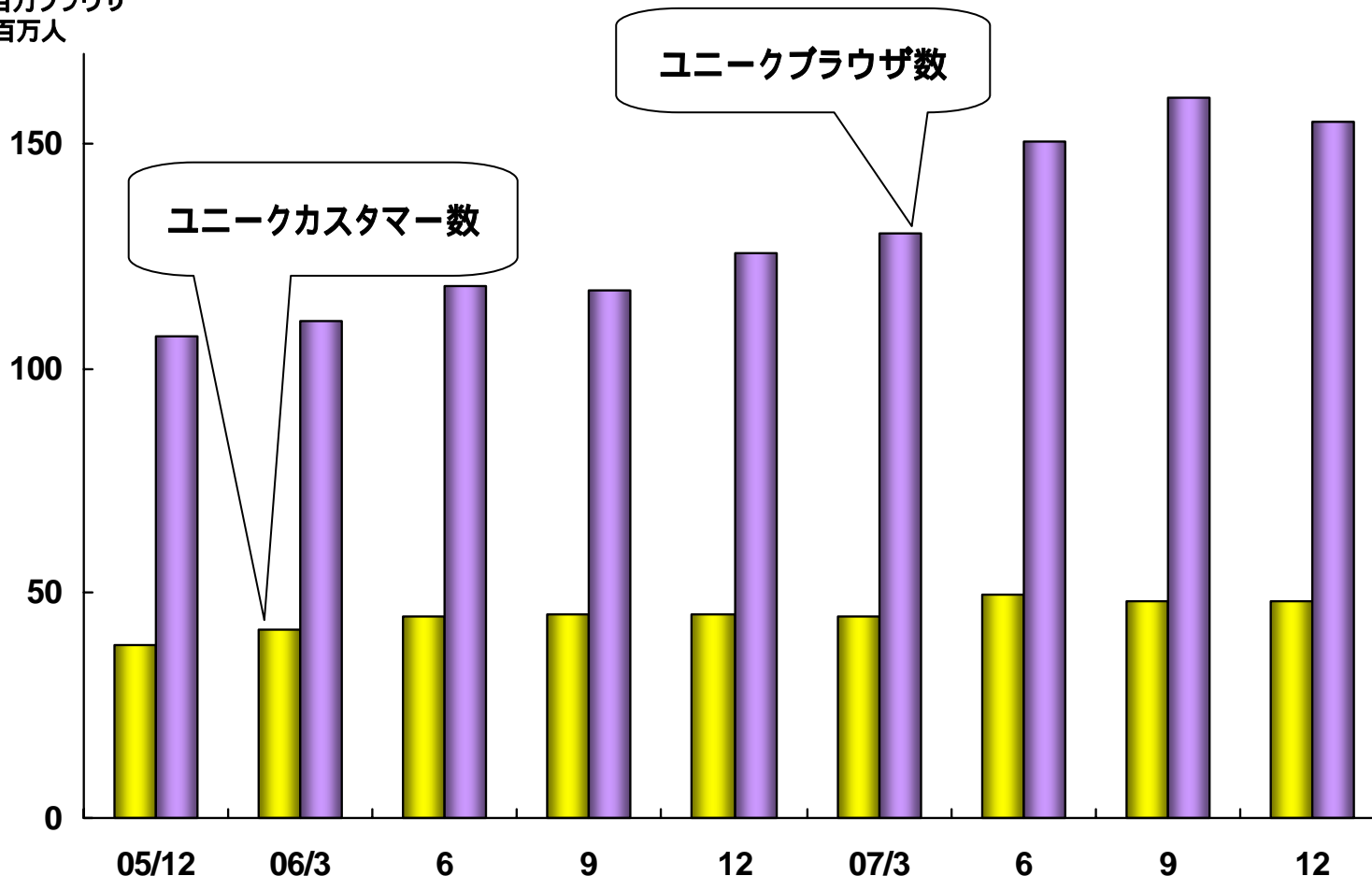
• 1日あたり平均取扱高	<u>2006年10-12月</u>	<u>2007年10-12月</u>
コマース(億円):	26.9	26.9
オークション(億円):	21.8	21.1
ショッピング(億円) :	5.1	5.8
内モバイル経由コマース(億円):	2.5	3.3
• 「Yahoo! BB」接続回線数	<u>2006年12月末</u>	<u>2007年12月末</u>
総回線数(万回線):	516.1	494.3
Yahoo! JAPAN 獲得回線数(万回線):	113.9	101.8
• その他オークションデータ	<u>2006年10-12月</u>	<u>2007年10-12月</u>
平均落札額(円):	5,884	5,378
平均落札率(%):	28	23
• ビジネスエクスプレス(件):	<u>2006年10-12月</u>	<u>2007年10-12月</u>
(月平均件数)	3,463	3,713

「Yahoo!ショッピング」、「Yahoo!チケット」、「Yahoo!トラベル」を含む。両期間とも不正注文を除いた金額を算出



Yahoo! JAPAN利用者数の推移

単位:百万ブラウザ
百万人



(当グループ/ニールセン・オンライン調べ)

- ユニークブラウザ数: 当グループサービスが閲覧されたブラウザ数を集計
- ユニークブラウザ数は、外部の大量ID取得ツールからの不正アクセス等により、月により大きく変動することがあります
- Nielsen Online「NetView AMS JPにおける家庭および職場からの視聴率データとNielsen Online「インターネット基礎調査」をもとに、Yahoo! JAPANのユニークカスタマー数を算出

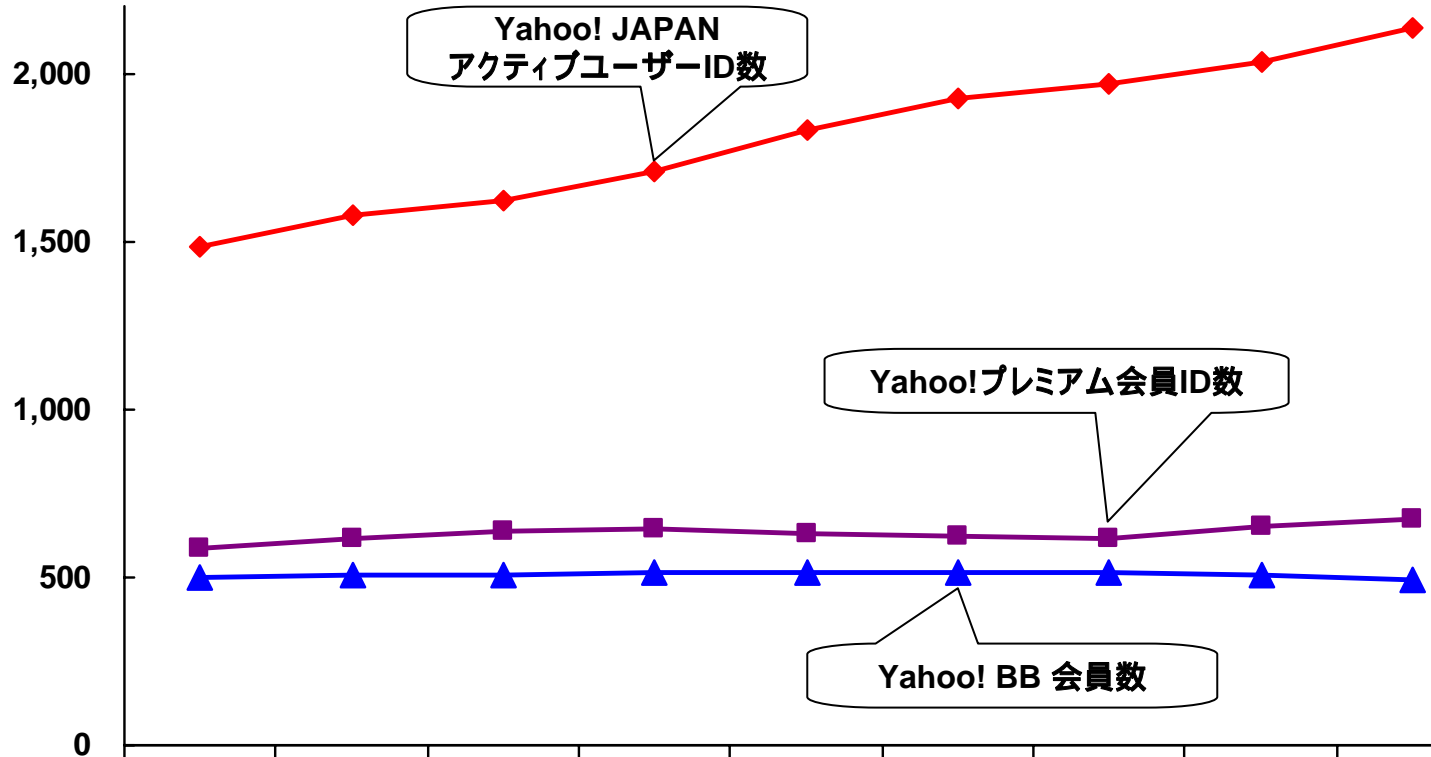
*本資料・データの無断転用はご遠慮ください





Yahoo! JAPAN ID数・会員数の推移

単位: 万 (ID、回線)



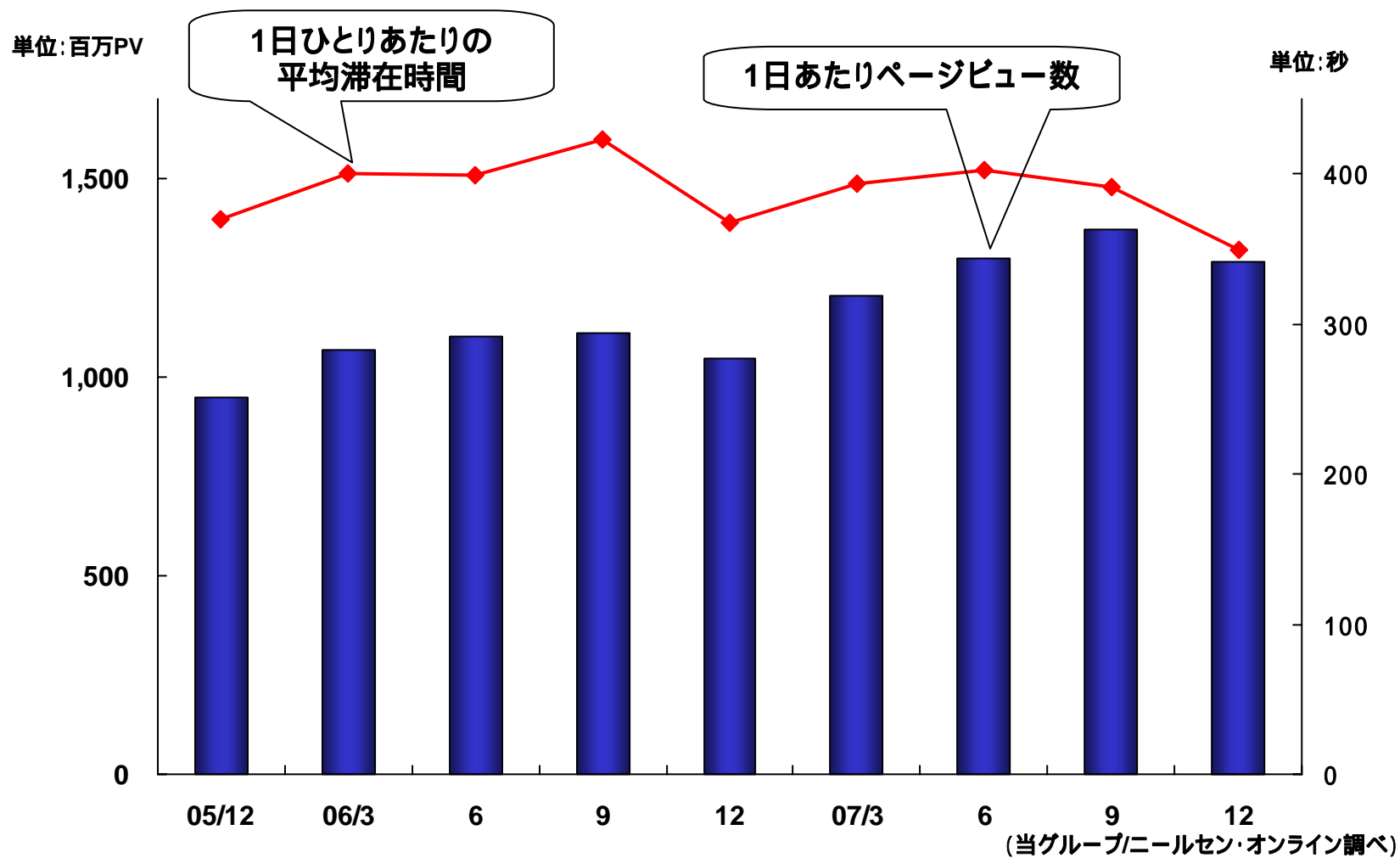
◆ アクティブユーザーID	1,485	1,580	1,624	1,705	1,828	1,923	1,967	2,031	2,136
■ Yahoo!プレミアム会員ID	588	615	635	643	630	619	616	649	674
▲ Yahoo! BB会員	501	505	509	515	516	516	513	504	494

*アクティブユーザーID数 = 各月中にログインしたYahoo! JAPAN ID数





Yahoo! JAPANページビュー・滞在時間の推移



- ・1日あたりページビューは当社データに基づく
- ・1日ひとりあたりの平均利用時間はNielsen Online「NetView AMS JP」における2005年12月～2007年12月の家庭からの視聴率データを元に算出

*本資料・データの無断転用はご遠慮ください



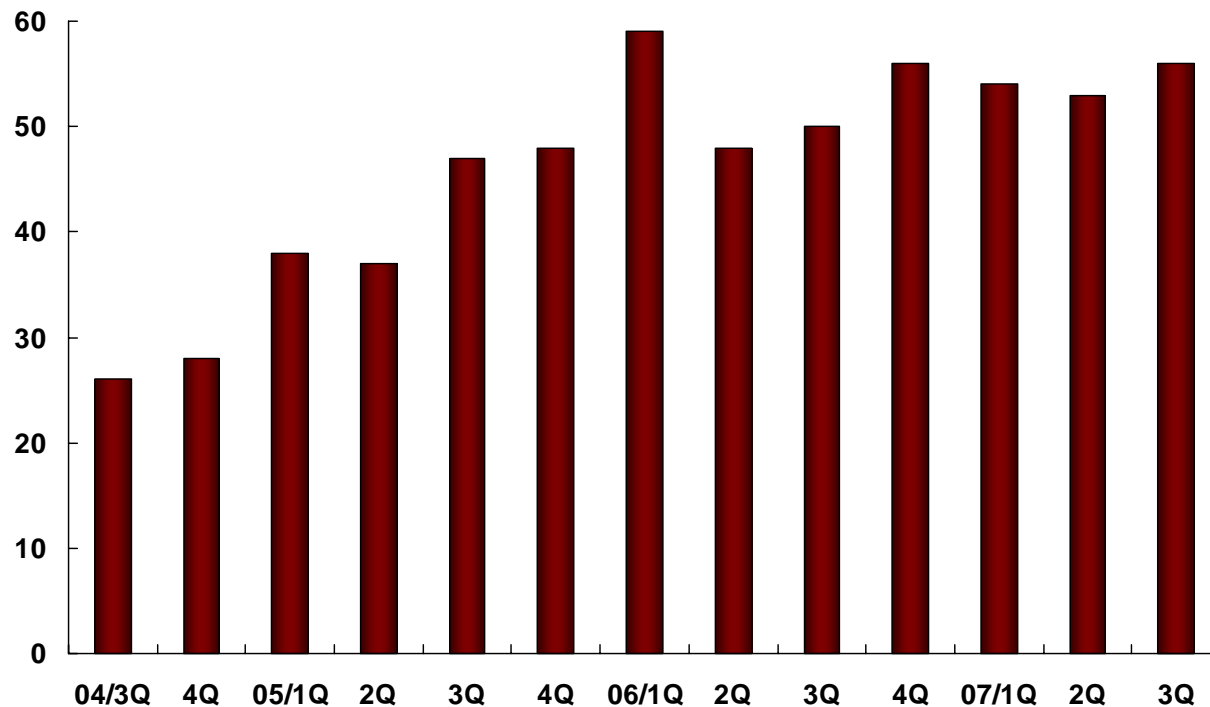


ナショナルクライアントの動向

ナショナルクライアントからの出稿額：50億円(2006/3Q)

56億円(2007/3Q)

単位：億円



■ 上記は検索連動広告を含んでいません

ナショナルクライアント

- ・日経広告研究所2006年
広告費用上位100社
- ・ビデオリサーチ テレビ広告
統計 2006年広告出稿
上位100社(関東)
50社(関西)
- ・MRS2006年新聞雑誌
広告費用上位各100社

に含まれる企業に、当グループ営業
重点企業(大企業等)を加えたものを
母数とする。ここに含まれる企業に
政党および官公庁を加えた企業を
当四半期のナショナルクライアント数
とする



2007年度第3四半期 主要広告主

金融・保険・証券

アメリカン・エクスプレス・インターナショナル
三井住友銀行
オリックス・クレジット

自動車・関連品(輸送用機器)

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研工業

不動産・建設

コスモスイニシア
大京
三井不動産レジデンシャル

移動体通信サービス

KDDI
ソフトバンクモバイル

化粧品・トイレットリー

資生堂
ディーエイチシー
アイム

交通・レジャー

全日本空輸
日本航空
日本中央競馬会

各種人材サービス

エン・ジャパン
毎日コミュニケーションズ

コンピュータ・コンピュータ関連・事務機器

デル
富士通

エンターテイメント系ソフト

ゲームオン
ワーナーエンターテイメントジャパン

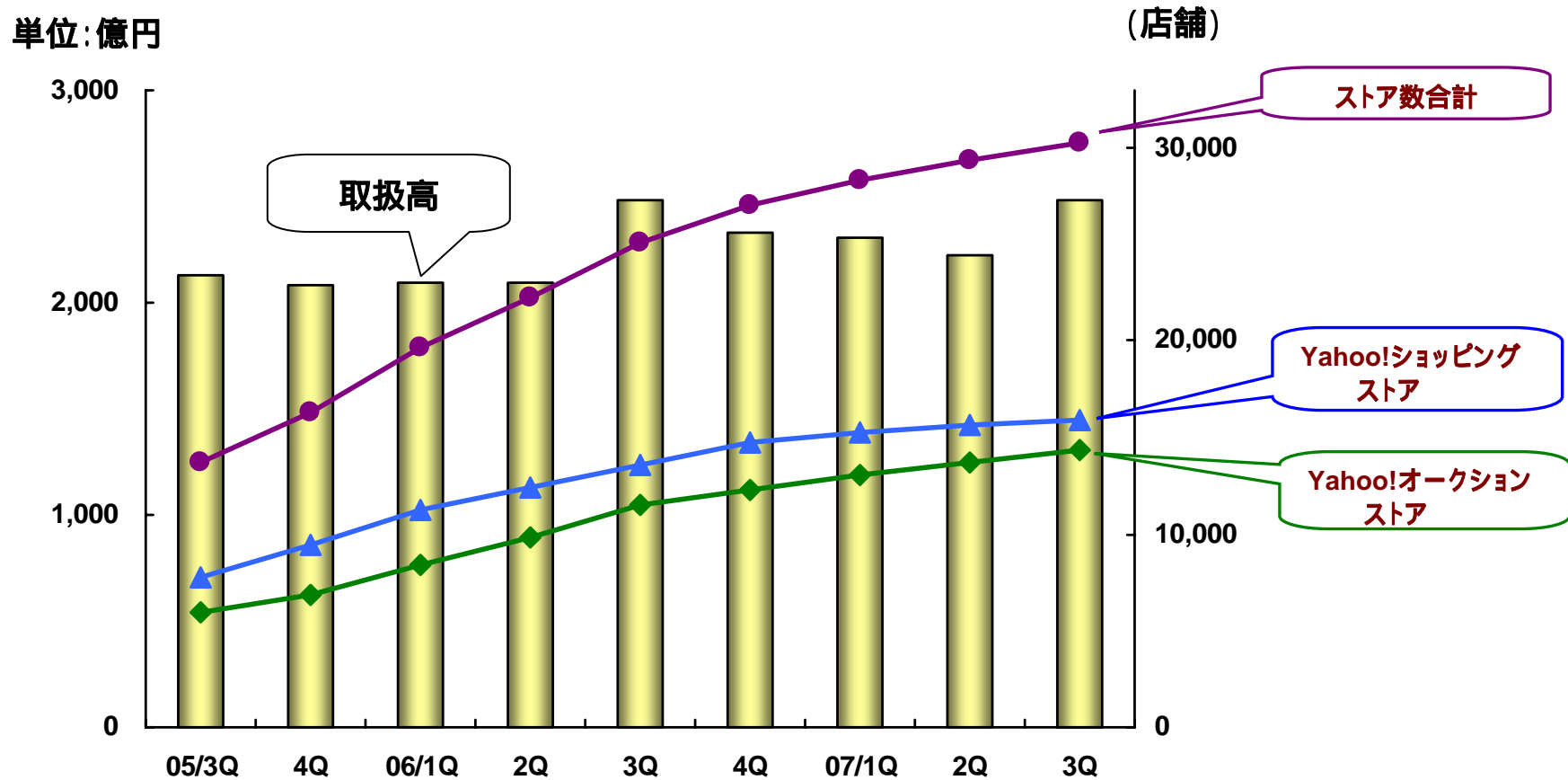
ファッション・アクセサリ

コーチ・ジャパン
カルティエ(リシュモン ジャパン)

- 上記は検索連動広告を含んでいません
- 上記は広告内容により分類しています



eコマース取扱高およびストア数



- 2006年2月からセブンアンドワイ(株)を子会社から持分法適用会社に変更したことに伴い、同社自社サイトにおける取扱高を同月から除いています
- eコマース取扱高に関しては、不正注文を除いた金額を算出しています



当グループのWeb上のIR情報は、以下のURLをご参照ください。

<http://ir.yahoo.co.jp/>